

多様な価値観を組織に活かす

ダイバーシティ・マネジメントセミナー

今、多様な人材が能力を発揮しやすい組織づくり（ダイバーシティ・マネジメント）が求められています。組織マネジメントにあたっては、女性をはじめとする多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、新たな発想やイノベーションを生み出していくことが必要になってきています。

このような中で、管理職には、部下の持つ多様な価値観を理解し、「働き方」を見直すことで、それぞれの個性をチームのパフォーマンスにつなげていく柔軟性の高い組織マネジメントが期待されています。

このセミナーでは、職場のマネジメントに取り組んでいる管理職の方を対象に、多様な人材の能力を引き出して成果に繋げていくヒントをご提供したいと考えています。併せて、人事部等でダイバーシティの推進を担当されている方には、他社の取組に触れていただき、さらなる推進の契機にさせていただきたいと考えています。

◆ **日時** 2014年2月3日(月) 13:00～17:30

◆ **会場** 経団連会館 4階 ダイアモンドルーム
東京都千代田区大手町 1-3-2
アクセス：東京メトロ「大手町」駅下車 C2b 出口直結

◆ プログラム

開会挨拶 内閣府大臣官房審議官（男女共同参画局担当） 別府 充彦

第1部 基調講演 13:10～

「社員も会社も幸せにするダイバーシティ経営（仮題）」
法政大学大学院政策創造研究科教授 坂本 光司 氏

第2部 事例報告 13:50～

◇ 東日本旅客鉄道株式会社 ◇ 伊藤忠商事株式会社

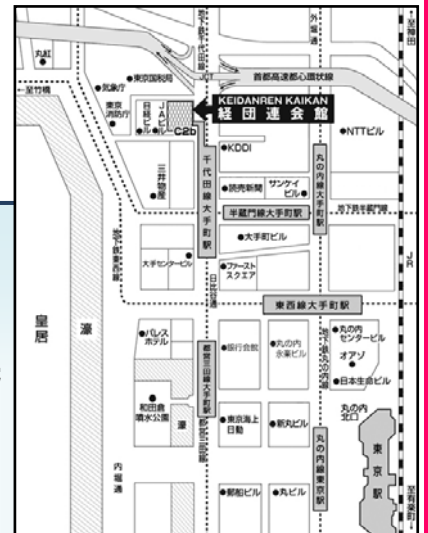
第3部 ワークショップ（ワールドカフェ） 15:00～

ファシリテーター

立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科教授 萩原 なつ子 氏
古瀬ワークショップデザイン事務所 古瀬 正也 氏

同時開催 第2回「カエルの星※」認定書授与式

閉会挨拶 経団連企業行動委員会女性の活躍推進部会長
野村ホールディングス執行役員 中川 順子



※「カエルの星」：仕事と生活の調和を実現するためには、企業のトップ層が率先して取り組むことが重要ですが、企業や団体内の部・課・班・チームなどの単位（以下、チームといいますが）で、日々の仕事を見直し、業務の効率化を進めることも「長時間労働の縮減」や「年次有給休暇の取得促進」に大きな効果が期待されます。そこで、内閣府では、チーム単位で働き方を変えて成果をあげた取組を広く公募し、好事例を「カエルの星」と認定し、認定書を授与しています。

◆ **対象者** ダイバーシティ担当以外の管理職、ダイバーシティ担当者〔参加費無料〕
100名（先着順）
セミナーの対象者は次のとおりです。ぜひ2名以上で一緒にお申込みください。

- ◆ ダイバーシティ担当以外の管理職
 - ・ 女性をはじめとする多様な人材の能力を引き出していくことで、これまで以上に仕事の成果を挙げていきたい方。
 - ・ リーダーシップを発揮して、他社の事例を参考に自職場でダイバーシティ・マネジメントに取り組んでいきたい方。
- ◆ 人事部等のダイバーシティ担当者
 - ・ ダイバーシティ担当者として、多様な人材の能力を引き出して、仕事の成果を挙げていくための社内施策づくりに取り組んでいる方。
 - ・ 他社の取組等を、自社へ取り入れて展開していきたい方。

主催： 日本経済団体連合会 内閣府

ひとつ「働き方」を変えてみよう！
カエル！ ジャパン
Change! JPN

＜第1部＞ 基調講演

法政大学大学院政策創造研究科教授

同大学院静岡サテライトキャンパス長 坂本 光司 氏



1947年、静岡県出身。1970年法政大学経営学部卒業。静岡文化芸術大学文化政策学部・同大学院教授等を経て現職。他に、「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」審査委員会委員長等、公務多数。主な著書は『日本でいちばん大切にしたい会社 1.2.3.4』（あさ出版）『どう生きる』『どう働く』（あさ出版）『なぜこの会社に人財が集まるのか』（商業界）『社員と顧客を大切にしたい会社「7つの法則」を実践する優良企業48』（PHP研究所）『小さくてもいちばんの会社～日本人のモノサシを変える64社～』（講談社）、など。中小企業経営研究の第一人者として、これまで7,000社を超える企業への訪問調査・アドバイスをを行う。

＜第2部＞ 事例報告

東日本旅客鉄道株式会社 / 伊藤忠商事株式会社

＜第3部＞ ワークショップ（ワールドカフェ）ファシリテーター

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授 萩原 なつ子 氏



（財）トヨタ財団アソシエイト・プログラム・オフィサー、宮城県環境生活部次長、武蔵工業大学環境情報学部助教授などを経て現職。専門分野は環境社会学、非営利活動論。認定特定非営利活動法人日本NPOセンター副代表理事。内閣府「男女共同参画会議 基本問題・影響調査専門調査会」委員。大学で教鞭をとる傍ら、市民参加型の様々なワークショップに関わっており、広範なネットワークを生かして、ユニークで斬新なイベントを手掛けている。

古瀬ワークショップデザイン事務所 古瀬 正也 氏



2008年、ワールドカフェを体験し、対話に興味を持つ。2010年には全国47都道府県でワールドカフェを開催し、約1200名が参加。修士論文「ワールド・カフェ・デザインの可能性」を執筆し、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士前期課程修了。社会デザイン学修士（MBA）。2012年、古瀬ワークショップデザイン事務所（http://furuse.ws）を立ち上げ、現在は、フリーランスのファシリテーターとして活動中。

■ 申込方法

申込欄にご記入のうえ、FAXにてお申込みください。【締切 1月24日（金）】
先着にて受付させていただきます。定員に達した場合、受付を終了いたします。
ぜひ2名以上で一緒にお申込みください。

＜申込欄＞ 経団連 政治社会本部 行
FAX 03-6741-0352

会社名	
-----	--

＜参加希望者＞

ダイバーシティ担当以外の管理職		ダイバーシティ担当者	
部署・役職		部署・役職	
芳名		芳名	
部署・役職		部署・役職	
芳名		芳名	

＜本件連絡先＞

部署・役職		TEL	
芳名		メールアドレス	

＜お問い合わせ先＞

日本経済団体連合会 政治社会本部 03-6741-0719 (担当：星野、小川)
内閣府 男女共同参画局 03-3581-2327 (担当：宮本、市川)